

盲導犬の育成事業への支援について

神奈川県遊技場協同組合(理事長：関根貞雄)と神奈川県福祉事業協会(会長：関根貞雄)は、盲導犬の育成事業への支援を行うことを決定し、本年7月26日、財団法人日本盲導犬協会神奈川県訓練センターに対して、200万円を寄贈しました。

この寄贈に伴って、財団法人日本盲導犬協会井上幸彦理事長から神奈川県遊技場協同組合と神奈川県福祉事業協会に感謝状が贈られました。同協会に対する支援は、平成16年度以来のことです。寄贈式の状況は、次のとおりです。

1. 実施日	平成22年7月26日(月)
2. 場所	盲導犬協会神奈川県訓練センター : 横浜市港北区新吉田町6001-9
3. 寄贈者	神奈川県遊技場協同組合・神奈川県福祉事業協会
4. 寄贈先	財団法人日本盲導犬協会神奈川県訓練センター
5. 贈呈物品	盲導犬用医療器具などの購入助成金200万円

6. 概要 平成14年10月、身体障害者補助犬法が施行されました。盲導犬を育成するには、その訓練に大変な時間、労力、費用がかかることから、盲導犬需要に追い付かないのが実情です。こうした中で県遊協と協会は、盲導犬の育成事業への支援を行い、1頭でも多くの盲導犬をユーザーの下に提供して頂きたいとの思いからこの度の寄贈となったものです。

贈呈式において、神奈川県遊技場協同組合上原専務理事から同訓練センター施設長 成田治則様に対し、目録を手渡し「目の不自由な方にとっては、盲導犬を活用することによって、日常の活動範囲が広がることと思います。これからもより多くの盲導犬を育てていただければ何よりです」とあいさつしました。これに対し、成田センター長から感謝状をいただくとともに「センターでは、90頭以上の盲導犬を育成しているが、これに伴って顕微鏡をはじめとして、色々な動物用の医療器具を必要としています。お陰さまでこの度のご支援もって、施設内の医療器具が一気に充実しました。」と心から感謝の言葉を述べられました。

この贈呈式の模様は、神奈川県新聞、毎日新聞、読売新聞でも紹介されました。

